

# メタセコイア

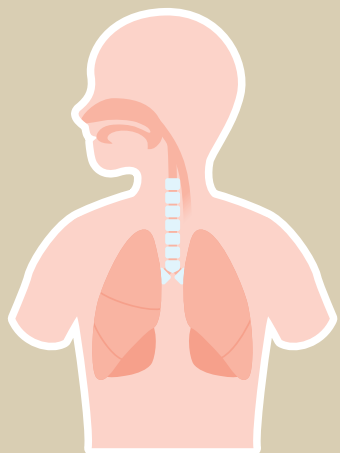
2021.10  
Vol.55

## - も く じ -

- 2 地域医療における肺高血圧・肺循環診療を  
充実させるために  
循環器内科 講師 福井 重文
- 3 連携室からのお知らせ
- 4 5大がん地域診療連携クリティカルパスの  
整備に関しまして  
外来化学療法センター長 がん診療推進・院内がん登録委員長 下平 秀樹
- 5 がん相談支援センターのご案内
- 6 消化器内科専用電話予約のご案内



循環器内科  
講師  
福井 重文



## 地域医療における肺高血圧・肺循環診療を 充実させるために

平素より当院の地域医療連携にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。

今回は私が専門と致します肺高血圧 (PH: pulmonary hypertension) ・肺循環診療に関しまして、今後益々先生方と連携体制を充実させていくために、当院での取り組みなどをご紹介します。

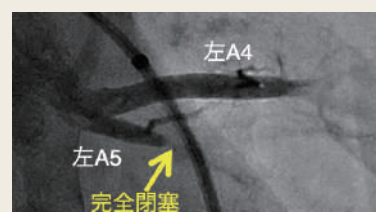
私の略歴ですが、2001 (平成 13) 年に東北大学を卒業し、2008 年に東北大学大学院を修了し、2009～2013 年まで岩手県立中央病院で PCI やペースメーカーなど循環器診療全般を学んだ後に、2013～2019 年まで大阪吹田の PH の症例数の多い国立循環器病研究センター肺循環科に所属し、6 年間研鑽を積んで参りました。2019 年から二年間東北大学病院循環器内科に戻り、同分野を中心に診療・研究に従事し、2021 年 4 月から当院に赴任しております。

PH は、狭心症や心房細動と異なり、いわゆる稀少疾患に分類され、なじみの少ない先生方もおられるかと思います。特に PH 臨床分類の第 1 群である肺動脈性肺高血圧症 (PAH: pulmonary arterial hypertension) と第 4 群の慢性血栓塞栓性肺高血圧症 (CTEPH: chronic thromboembolic pulmonary hypertension) は、厚生労働省の指定難病の一つとなります。肺循環疾患の特徴の一つとして、右室 (肺循環系) は本来低圧系であり、圧負荷 (PH) に弱く、放置すれば、(右) 心不全から生命に関わる予後不良の疾患です。一方で、この領域はこの 10～20 年で最も進歩した領域の一つとも言えると思われます。PAH では特異的肺血管拡張薬の開発・進歩により、CTEPH ではバルーン肺動脈形成術 (BPA: balloon pulmonary angioplasty) や外科手術を含めたインターベンションの進歩により、早期に適切に診断及び治療がなされれば、その予後は大きく改善し得る時代となっています。

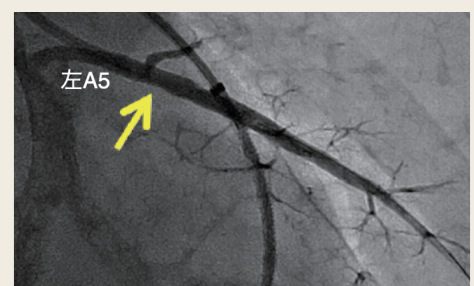
PAH は、その成因により特発性、膠原病関連、肝疾患 (肝硬変など) 由来、先天性心疾患関連などに分類され、多彩な患者背景をもちますので、その診断には診療科横断的な臨床的アプローチを必要とします。そのため、院内のみならず、地域の血液・リウマチ科や、消化器内科、小児科、心臓血管外科の先生方とも連携し、治療にあたる必要があります。また、CTEPH では、6 月から当院でも月に 4～5 例の BPA (図) を看護師や放射線技師、臨床工学技士などコメディカルの協力の下開始しており、十分な安全性と効果を認めております。今後私のもう一つの専門である心房中隔欠損症 (ASD) や、奇異性脳塞栓症の原因となる卵円孔閉存症 (PFO) のデバイス閉鎖術の施設認定の準備も行っていくと考えており、そのような患者様がおられましたら、ぜひご紹介頂ければと思います。

上記のような PH が疑われる症例や右心不全が疑われる症例がおられましたら、疑い例や相談レベルでも全く構いませんので、是非当科にご紹介下さい。小生は毎週月曜日に肺循環外来をひらいております。重症で入院中の方の場合には、小生宛てにお電話を頂けましたら、転院手配含めすぐに対応させていただきます。ご紹介頂きました先生方には、検査結果や治療経過をフィードバックし、安定次第患者様をお返ししたいと思います。これからも地域の先生方のご指導やご意見を賜りながら、活動していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

### ■ バルーン肺動脈形成術 (BPA) 前後の選択的肺動脈造影所見



治療前



治療後

## 連携室からのお知らせ

今回、ご紹介いたしました循環器内科 福井重文先生の外来日についてお知らせです

**外来日** 毎週月曜日

**受付時間** 8時30分～11時30分

**受診方法** **直接来院の場合**

時間内に紹介状をご持参のうえ来院ください。

**連携室にて予約をとる場合**

### ●紹介状ができあがっている場合

診療予約申込書に紹介状を添付の上、連携室にFaxにて送信してください。

### ●紹介状を作成してない場合

診療予約申込書に主訴並びに紹介目的を記載のうえ、連携室にFaxにて送信してください。

### ●電話でのお問い合わせ

予約枠の確保はいたしますが予約後、診療予約申込書を連携室にFaxにて送信してください。

診療予約申込書



連携室



## 消化器内科 専用電話予約について

消化器内科では6月より  
消化器内科専用電話紹介予約を  
開始いたしました。

消化器内科は当日来院可能な診療科ですが、待ち時間が長い場合緊急性の低い患者さんにつきましては、患者さんからお電話1本で予約がとれるこちらの専用電話予約をおすすめいたします。

### ① 患者さんへのご案内

紹介状を作成し、患者さんに別紙チラシの「消化器内科専用電話紹介予約のご案内」を紹介状と一緒に渡してください。



### ② 患者さんからお電話ください

紹介状と「ご案内」をお手元にご用意の上、患者さんから直接代表電話番号022-259-1221にお電話の上、連携室にお伝えください。

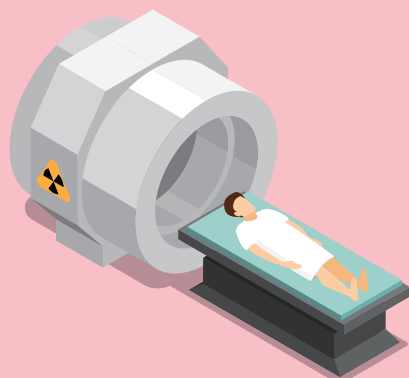


### ③ 予約日確定

連携室事務が対応し予約日を確定し終了です。  
なお、紹介元医療機関からの紹介状のFAXは不要です。



外来化学療法センター長  
がん診療推進・  
院内がん登録委員長  
下平 秀樹



## 5大がん地域診療連携 クリティカルパスの整備に関しまして

2021年4月より当院は、厚生労働省により地域がん診療連携拠点病院に指定されました。地域がん診療連携拠点病院は様々な形で地域の医療施設との連携を行い、がん診療を推進することが求められています。その一環として、がんの地域連携クリティカルパス（がん連携パス）の整備があります。特に5大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）について、がん連携パスを整備することは地域がん診療連携病院の指定要件になっています。がん連携パスとは、がん診療拠点病院が地域の医療機関と連携し、切れ目のないがん医療を提供するためのツールです。例えば、手術などの治療を行った病院（がん診療連携拠点病院）と地域の一般医療機関（かかりつけ医）などが協力して情報交換・共有を行い、患者の方々の視点に立った、安心して質の高い医療を提供・継続する体制を構築することをめざします。このようなシステムは専門的な医療と総合的な医療をバランスよく提供し地域密着型の共同診療体制を構築することを目的に整備されてきました。具体的には患者の皆さんから同意を得た上で「医師用共同診療計画表」「患者用共同診療計画表（いわゆる私のカルテ）」などを用いて診療連携を進めていきます。これにより、医療機関間の連携を図ることができだけでなく、患者の方々にも今後の治療計画が理解しやすくなります。また、がん診療連携拠点病院が連携元病院である場合に限り、連携元病院（計画策定病院）は「がん治療連携計画策定料」が、診療所等（連携医療機関）は「がん治療連携指導料」が診療報酬として算定されます。算定に当たっては、計画策定病院、連携医療機関ともに、あらかじめ施設基準の届出を行う必要があります。今後、当院では5大がんの連携パスの運用にご賛同いただける地域の医療機関を募り、登録を進める予定としております。

登録医の先生方には、がん連携パスをはじめとする当院の地域がん診療連携拠点病院としての活動にご協力を賜りたく、今後ともよろしくお願い申し上げます。





# がん相談支援センターのご案内

当院が本年4月に、地域がん診療連携拠点病院の新規指定を受けてから、半年が経過しようとしております。仙台市内で、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている医療機関は、当院が3箇所目となります。指定を受けるには、複数の要件を満たすことが必要となり、手術件数などの診療実績のほか、放射線治療などの設備、専門的な治療・診断に携わる医師の確保、緩和ケアチーム

や相談支援センターの整備状況などで判断されます。

がん相談件数は、2019年度で156件、2020年度で359件、今年度7月までの集計は116件となります。コロナ禍において、在宅医療のニーズが高くなったように思います。仕事と治療の両立支援の充実も当センターの大きな役割と考えております。

## がん相談員

がん相談に関する専門研修を受け、適格な相談支援が出来るよう、継続的に研修を積んでおります。また、県内や東北地区の医療機関の相談員とも定期的に会議の場で情報交換を行いながら、がん相談窓口の質の向上に努めております。がんの診断から治療、その後の療養生活、さらには社会復帰と、生活全般にわたって、疑問や不安を感じた際に、利用いただける場として開設しております。

院内の専門部署や関係機関と横断的に連携を図りながら、対応しております。

## がんサロン

コロナ禍により見合わせておりますが、再開出来るようになった際には別途ご案内させていただきます。

## 主な相談内容

- ◆医療費など経済的なこと
  - ◆介護保険・療養(在宅医療・ホスピス)について
  - ◆仕事復帰について
  - ◆利用出来る制度の紹介
  - ◆その他、ご心配ごとやご意見など
- ☒ 年齢は問わず、料金は発生いたしません。
- ☒ 院外の患者さんやご家族、関係機関からのご相談にも対応しております。
- ☒ がん関連以外の事での医療福祉相談も相談支援センターを併記して対応しております。



お困りの患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

平日 8時30分～17時15分

# 消化器内科専用 電話紹介予約はじめました



患者さんからお電話 1 本で予約がとれます

## ①ご案内を お願いします



「消化器内科専用電話紹介  
予約のご案内」を紹介状と  
一緒にお渡しください。

## ②患者さんに お電話するよう お伝えください



紹介状と「ご案内」をお手元  
にご用意の上患者さんから  
直接お電話ください。  
お電話は「医療連携室」へ。

紹介状



紹介状の  
事前 FAX 不要

患者さんにご案内して  
いただくだけで OK!

※内視鏡検査の予約については、医療機関からの予約申し込みとなります。ご了承ください。

東北医科薬科大学病院  
医療連携室

仙台市宮城野区福室 1-12-1

お問い合わせはこちら

TEL 022-259-1221

FAX 0120-25-9121

●受付時間／平日 9:00~16:00